

福岡県福岡市における活動組織の例

- 本地域は、福岡市の西部に位置し、川原川と周船寺川に挟まれた地域である。
- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、平成25年度からホタルを呼び戻す活動等、生態系保全活動を実施。
- これらの活動により、活動地域内においてスポット的にホタルが見られるようになり、地域住民の環境保全に対する意識も向上。

【地区概要】

- ・取組面積28ha（田25ha、畑3ha）
- ・資源量 開水路7km
農道約8km
- ・主な構成員 農業者、町内会、
老人会、子ども会

・活動内容

農地維持支払
資源向上支払(共同)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、福岡市の西部に位置し、川原川と周船寺川に挟まれた地域である。
- 市内有数の麦の産地。
- 農業従事者の減少・高齢化に伴い、農地等の適切な維持管理や農村環境保全が困難となってきた。



【福岡市西部に位置する】

取組内容

- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農用地・水路・農道等の地域資源の保全活動を実施。
- 平成25年度からは生態系保全活動の一環としてホタルを呼び戻す活動を行っている。
- さらに平成26年度からは、町内会・老人会・子ども会も参加し、アユの稚魚の放流も行っている。



【ホタル幼虫の放流】

取組の効果

- ホタルを呼び戻す活動は初年度から成功したわけではないが、試行錯誤しながら、活動を継続している。その結果、活動地域内において、スポット的にホタルが見られるようになった。
- 放流したアユの成長を確認することで、アユを大切に育てようという意識や水路の環境を守る重要性を地域住民が認識。
- これらの取組を通じ、農村環境が保全されるとともに、地域住民の環境保全に対する意識も向上。